

サクッと学べる 「歯科×食」の健康講座

～ 歯科診療に食事相談を組み込むことで実現する 健康について楽しく解説します ～



口腔機能の低下と食べる力

口腔機能の低下は、末端局所に限った問題ではなく、全身の健康しかり、食べることを根底に日常生活に深く関わります。加齢や疾患、薬剤の影響により口腔の感覚・唾液分泌・咀嚼・嚥下等の機能が低下すると、食生活の質が落ちることから食事によって得られる心理的満足が得にくく、精神活動にも影響を及ぼします。一方、特に高齢者では口腔内での食塊形成が上手くできないと、誤嚥や窒息のリスクが高まり生命を脅かすことさえあるのです。



そして、加齢に伴う口腔機能の低下は徐々に進行するため患者さん自ら気づくことが少なく、また「年のせいだから・・・」と諦めてしまっているケースもあります。そこで、われわれ歯科医療従事者は、う蝕や歯周病の治療・ケア、補綴治療と並行し、衰えた口腔機能を取り戻すべく、口腔機能を管理することの大局をしっかりと患者さんにお伝えする必要があります。人生100年時代を迎えた健康寿命の延伸と、日常生活における食事を楽しむという心の癒しにも寄与する歯科医療の提供と質の向上を目指す事が求められています。



記事

長谷剛志先生

公立能登総合病院 歯科口腔外科 部長